

環境・地域貢献

方針

SDGsの達成と地域貢献を推進する。

目標

1. SDGsに貢献する取り組み1件/人の実施。
2. 「一現場一奉仕」の全現場実施。

【寿ブランド実施事項】

目標会議

受注した工事に対して【三方良し】の理念で、以下の10の視点について目標をすり合わせる。

- ① 地域住民の視点(利用住民のニーズ)
- ② 一現場一奉仕
(地域住民とのコミュニケーション)
- ③ 発注者の視点(高品質・工期厳守・無災害等)
- ④ 品質の視点(規格値内の施工、見栄え等)
- ⑤ 安全の視点(労働災害・交通事故・公衆災害)
- ⑥ 衛生・環境の視点(健康管理・産業廃棄物等)
- ⑦ 作業環境の視点(一酸化炭素等の測定)
- ⑧ 化学物質の視点(SDSとリスクアセスメントの確認周知)
- ⑨ 人材の視点(育成・成長)
- ⑩ 会社成長の視点(業績UP・経営目標の達成)



※順守すべき法令等の確認 [ISO業務マニュアル6.6]

工事規模に応じて目標会議を4区分し検討する。

工事完了後、目標に対しての反省・評価を行い、今後の類似工事の取り組みの参考として活用。

地域とのコミュニケーション

- ・ 福島市AEDサポートステーション事業登録。
- ・ インターネットショップ「寿建設商店」で地域の農産物などを販売。
- ・ 「一現場一奉仕」の実施。
- ・ 地域の高校生の現場実習に協力。
- ・ 行政機関と災害時対応協定締結。
- ・ 「花いっぱい運動」。
- ・ 「子ども食堂」の支援。



働きやすい職場環境づくり

- ・「働く女性応援」中小企業認証(福島県)。
- ・「イクボス宣言」(福島県)。
- ・資格取得推奨制度によるスキルアップ。
- ・各種表彰制度。
- ・「私の提案」制度によるやりがい創出。(新商品開発・特許技術)
- ・「KN(心と心のネットワーク)運動」の展開。
- ・DX施工への積極的な取り組み。
- ・女性専用の休憩室の設置。(社内の職場環境整備)

その他の取り組み

- ・KOTOBUKIフォーラムで社員と協力会社へ情報提供と教育を実施。
- ・新卒者や中途入社者に対して充実した教育を実施。
- ・新技術の開発と技術の次世代継承。
- ・協会「寿友の会」を組織して情報を共有した協力体制。
- ・姉妹会社・株式会社小野組(新潟県)との提携と連携強化。

地球環境を守る取り組み

- ・「ふくしまゼロカーボン宣言」参加。
- ・本社ビルで自家発電太陽光電力を利用。
- ・本社ビル全館LED照明化。
- ・コピー紙の裏紙使用。
- ・紙類廃棄物の再資源化。
- ・マイボトルの利用促進ペットボトル排出削減。
- ・資材納入時の過剰包装の低減。
- ・アポログループ(福島市)の「クリアファイルリユースプロジェクト」に賛同し資源リユースに協力。



エコキャップ収集活動・使用済み切手収集活動

収集したエコキャップは、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて再資源化し、売却益を発展途上国の子どもたちのワクチンとしてお届けする活動。

また、キャップはペットボトルと違い、特別な工場でしか再資源化処理が出来ず、それ以外の処理方法は焼却処理となりCo2が発生する。そして、再資源化する事で海洋マイクロプラスチック問題にも貢献する。

※海洋プラスチックゴミは、分解されずに半永久的に海を漂い続け海洋生物だけではなく、私たち人体にも悪影響を及ぼす可能性がある。



使用済み切手は、福島市社会福祉協議会を通じて世界中の切手コレクターに販売され、収益金が障害者の方が社会で自立するための支援活動に役立てられている。

